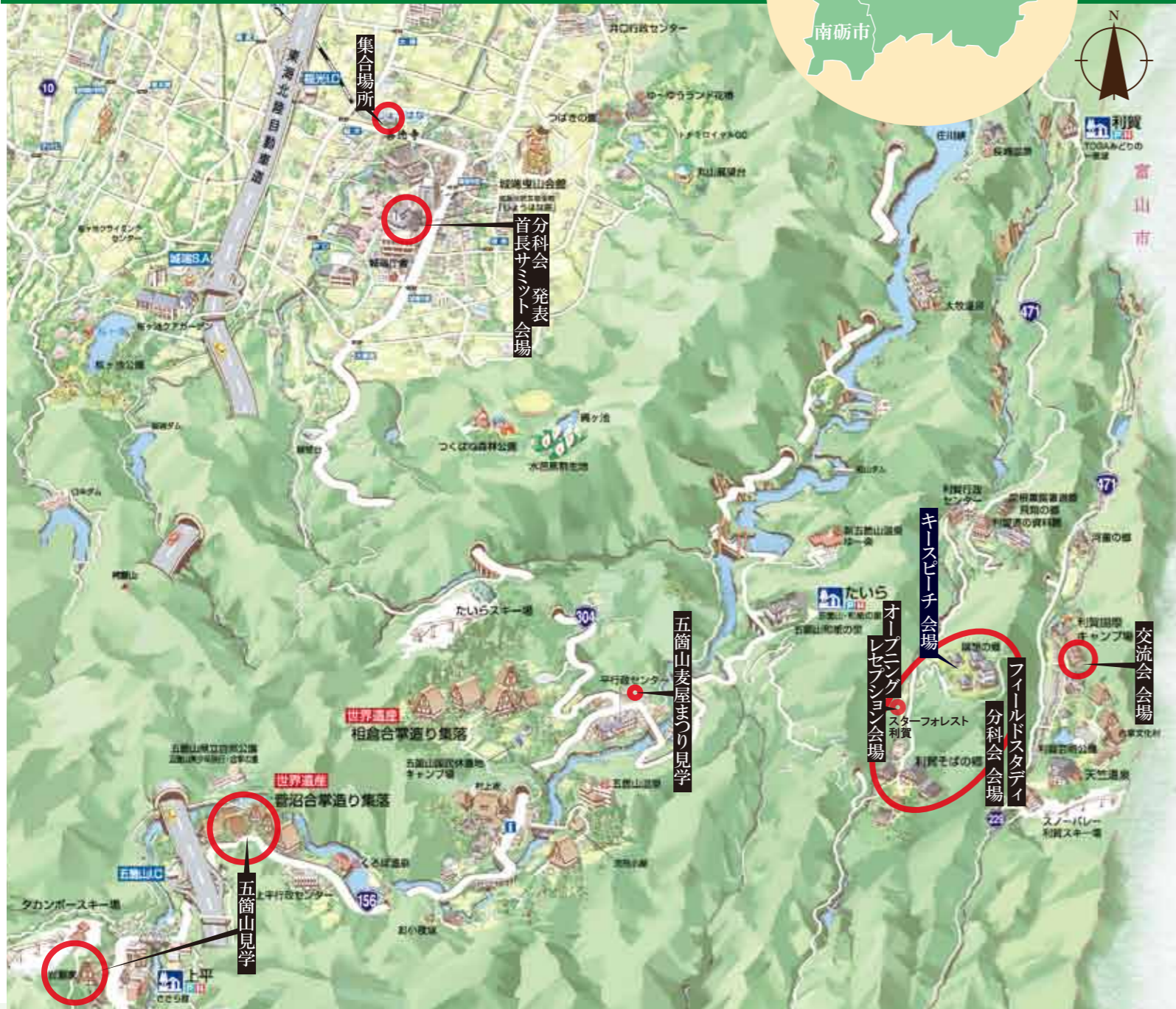


当日連絡先 080-6353-6206 (事務局携帯)

会場地図



第4回 ローカルサミット in 南砺 2011

東日本大震災に学ぶ「地域からの日本再生プラン」 ～新たな暮らし方は祈りを忘れない～「土徳の里」からのいのちの紡ぎ直し～



本年3月11日に起きた東日本大震災から半年が経過しましたが、残念ながら、未だ復興への道筋は必ずしも明らかにはなっておりません。多くの亡くなられた方々並びに行方不明者を含む被災者の方々に、改めて哀悼の意を表しますと共に深くお見舞い申し上げます。そうした状況下、この南砺で、第4回ローカルサミットが開催され、全国から多くの志民の方々をご参加いただきましたことに厚く感謝いたします。

我々は、2008年から、全国の幅広い志民との連帯の中で、地域活性化の輪を拡げると共に、グローバル資本主義に起因する人類・地球・いのちをめぐる諸問題の意味を根本的に捉えながら、従来の人間中心の成長至上主義から自然との共生・循環に立脚した価値観への転換を共有しようとする「ローカルサミット」を開催して参りました。

そうした中で、今回のローカルサミットは、これまでの議論を踏まえつつ、3月11日に発生した未曾有の地震・津波という自然の脅威と予想外の原発事故という人間の災禍に伴って生じている「いのちの怯え」への対処と共に、東北の復興を急ぎつつ日本再生という喫緊の具体的課題への対応を図らなくてはならない重要な意味を持つものとなりました。その意味で、今我々は、文明史的な転換点にあり、価値観の転換を図り、新しい暮らし方を構築していかななくてはなりません。

こうした東北の復興と日本再生のプラン作りを、「土徳」という精神風土が息づくまち・南砺市を舞台に、日本人の原点に立ち返りながら、「いのちの紡ぎ直し」をキーワードに皆で議論してまいりたいと思います。それが未来への希望に結実すると確信します。

戦後66年間に日本人が物質的豊かさとしきかえにおろそかにしてきた、人と人、人と自然、生と死の結び合いをもう一度取り戻しながら、いのちをどう次世代、未来へ送り届けていけるかを、3日間の分科会、交流会、各種シンポジウム等を通じて熱く議論していきます。そして、新しい豊かさとは何かを明確にし、各地域が、医/食・農/住・エネルギーといったライフラインをどう自立させていくかを問い、地域間の連携や都市と農山漁村の関係のあり方やお金の使い方を見直す仕組みも具体的に議論し、志民が首長とも手を携えながら「新しい暮らし方」を提案していくことで、国のあり方や政策の変革も見据えながら、これまでの「物質文明」からいのちを紡ぎ直す「環境生命文明」への転換の扉を開きたいと考えています。

効率・拡大指向のグローバルな波に流されることなく、今こそ、内なるローカルからの「いのちの自立と循環」による東北復興への継続的支援の方途と日本再生のプランを、この南砺「土徳の里」からしっかりと描き出し、それを希望と覚悟をもって実行していく意思表示を全国、そして主にアジアに向け発信していくことを、3日間のゴールにしてまいります。

南砺、利賀の豊かな自然と土徳の心あふれる地元の方々に触れながら3日間を心身共に楽しんでいただければと思います。実り多き会合になることを祈念しています。

第4回ローカルサミットin 南砺2011 実行委員会

土徳とは 「土徳」は、民藝運動の柳宗悦が、南砺市福光に疎開した棟方志功の作品世界に「土地の徳『土徳』がある」と評したことに由来する。信仰心が厚く、自然や伝統など、自分を越えた力に生かされていることに感謝し、謙虚に生きる当地の人々の精神風土を指します。

南砺市について 南砺市は、金沢に隣接した富山県南西部に位置し、散居村の田園地帯が広がる平野部と、美しい自然に恵まれた山間部を持つ、旧4町4村によって構成されています。そこには、世界文化遺産に登録された五箇山合掌造り集落、利賀村の演劇、木彫刻、和紙など、多くの文化的蓄積があります。そして土徳の里と呼ばれる地域であります。

利賀村について 利賀村の名は、加賀初代藩主の前田利家によって名付けられたことに由来します。富山県の南西部に位置し、岐阜県に接し、標高1,000mを越える山々に囲まれた村域は南北に細長く、庄川の支流である利賀川、神通川の支流である百瀬川が縦断しています。

<http://localsummit.jp/>

9/23 金祝	9/24 土	9/25 日
市内見学 オープニングレセプション 13:00 J R 城端線・城端駅集合 13:30 南砺市内見学 五箇山 I C ~ 岩瀬家 ~ 菅沼合掌造り集落 16:00 利賀村へ到着 17:00 オープニングレセプション <スターフォレスト利賀> ※オプションツアー 19:30 ~ 22:00 五箇山麦屋まつり見学	フィールドスタディ 分科会 ・ 交流会 09:00 フィールドスタディ 利賀村上島地区、坂上地区 11:00 キースピーチと瞑想 <瞑想の郷> <坂上公民館> <阿別当公民館> 13:00 昼食&オリエンテーション 分科会の各会場へ移動 14:00 分科会 (~ 18:00) 19:00 交流会 <利賀国際キャンプ場内 グルメ館>	分科会 発表 ローカルサミット 南砺宣言 07:30 利賀村出発 *城端 <じょうはな座> へ移動 09:00 日本海学と森里海連環学の 連携シンポジウム 10:00 各分科会まとめ・発表 11:00 首長サミット ローカルサミット 南砺宣言 次回開催地発表 13:00 閉会 ※オプションツアー 南砺市内ツアー / 富山国際大エクスカーション

主催：第4回ローカルサミット in 南砺 2011 実行委員会
協力：NPO ものづくり生命文明機構、場所文化フォーラム、NPO 健康医療開発機構、NPO 環・日本海、NPO 日中産学官交流機構
協賛：関西電力株式会社北陸支社、株式会社タイワ精機、となみ衛星通信テレビ株式会社 後援：富山県、南砺市

